

## 2021年第1回IEEE東京支部理事会 議事録

日 時：2021年3月25日(木) 12:00～14:00

場 所：機械振興会館 6階 6-64

出席者：中野 Chair、小林 Vice Chair、重松 Secretary、前原 Treasurer

以下、敬称略・順不同

坂東、桧垣、津村、中村、鈴木、奥村、今井、Prakash、稲森、

徳田、滝嶋、羽渕

オブザーバ：百武、梶川

事務局、幹事会社事務担当

議題：

1. 前回理事会議事録の確認 【審議】 (資料 1)
2. 2021-22 東京支部理事会構成 (資料 2)
3. 2020 年決算報告および監査報告 (資料 3)
4. 2021 年活動計画および 2021 年予算 (資料 4)
5. 2021 年中間会計報告 (資料 5)
6. 2021 年総会資料 【審議】 (総会資料)
7. 委員会活動報告 (資料 7)
  - ・ Chapter Operations Committee (資料 7-1)
  - ・ Fellow Nominations Committee (資料 7-2)
  - ・ Membership Development Committee (資料 7-3)
  - ・ Technical Program Committee (資料 7-4)
  - ・ Publications Committee (資料 7-5)
  - ・ Student Activities Committee (資料 7-6)
  - ・ History Committee (資料 7-7)
  - ・ Nominations Committee (資料なし)
8. Affinity Group 活動報告 (資料 8)
  - ・ Life Member Affinity Group (資料 8-1)
  - ・ Young Professionals Affinity Group (資料 8-2)
  - ・ Women in Engineering (資料 8-3)
9. その他 (資料 9)
  - ・ R10 Meeting 参加報告 (資料 9-1)
  - ・ [参考] グレード別会員数の推移 (資料 9-2-1)
  - ・ [参考] Society 別会員数の推移 (資料 9-2-2)

議事：

0. Chairのご挨拶

Chairより開会の挨拶が述べられた。

1. 前回理事会議事録の確認【審議→承認】 (資料1)

Secretaryより、前回理事会(2020年12月開催)の議事録について説明があり、異議なく承認された。

2. 2021-22 東京支部理事会構成 (資料2)

Secretaryより、2021-2022年の東京支部理事会構成メンバーが紹介された。

3. 2020年決算報告および監査報告 (資料3)

Past Treasurerより、資料に沿って2020年決算報告および監査報告があった。2020年決算(活動ベース)では、前年活動の結果としてR10のインセンティブが1月1日に入金された。監査では、予備費に計上していたピンバッジ製作費を広告費に計上すべきと指摘があり、広告費の項目を新設して計上した。収支は当初計画の赤字が縮小し、黒字となった。

4. 2021年活動計画および2021年予算 (資料4)

Secretaryより2021年活動計画について資料に沿って説明があった。2020年に開始した企業等組織単位でのFellow、Senior推薦増強の協力依頼と協調活動の継続、会員とのコミュニケーションと会員の拡大として2020年に制作した在籍年数記念バッジの送付・贈呈の有効活用について等の説明があった。

Treasurerより2021年予算について資料に沿って説明があった。広告費としては、Senior Memberメダルを予定している

Past Secretaryより、R10の活動促進のためのインセンティブについて、毎年額が変わるので、予算立てがしにくい、インセンティブの受領金の使途について報告が必要であるため、あらかじめ予算計画をしておくことが必要とのコメントがあった。

5. 2021年中間会計報告 (資料5)

Treasurerより、資料に沿って2021年の中間会計について説明があった。

Past TreasurerからのWIE計上費用の全額を東京支部が負担していることへの懸念に対し、Secretaryより、WIEについては現時点ではJC、信越も含めて暫定的に東京支部に計上している、とのコメントがあった。

6. 2021年総会資料【審議⇒承認】 (総会資料)

Secretaryより、総会資料の第1号議案～第5号議案の説明がなされ、2021年総会資

料は異議なく承認された。

7. 委員会活動報告 (資料 7)
- Chapter Operations Committee (資料 7-1)

COC Chair より、国際会議に関する 2 件について審議し承認・答申した旨の説明があった。
  - Fellow Nominations Committee (資料 7-2)

Secretary より FNC Chair の代理として資料に沿って昨年までの振り返り、提案アクション、今年の取り組みについて説明があった。

Past Secretary より、東京支部では FNC は Fellow を担当していて、Senior については MD で担当しているが、昨年の取り組みとして企業に説明をする場合は、Fellow と Senior を一括して説明している。この経緯により Fellow と Senior とを FNC で報告している旨の説明があった。提案アクションの項において、IEEE 会員を組織として取りまとめている機関という記載について、実態として自組織のことを把握できていない事例があり、自組織の会員を教えて欲しいというレベルから話をしてゆく必要がある旨のコメントがあった。
  - Membership Development Committee (資料 7-3)

Secretary より MD Chair の代理として資料に沿って会員数の増減状況、Senior Member 昇格者数について報告、2020 年活動状況と 2021 年活動計画について説明があった。

Past Secretary より、Senior 会員については、Fellow を増やすためにはまず Senior 会員を増やすという観点で、昨年の MD の検討では Senior 昇格者数は 50~60 人を目標にしている。シニア昇格記念メダルについては、JC が一括して製造所である造幣局から受け取っており、東京支部も JC に申請する手続きが必要。とのコメントがあった。
  - Technical Program Committee (資料 7-4)

TPC Chair より、マイルストーン受賞について HC と共同で講演会を実施。本日は夕方に講演予定。今後もリモートが主になるが、希望によりハイブリッド開催を検討する。YP との連携として合同講演会を検討中。との報告があった。
  - Publications Committee (資料 7-5)

PC Chair より、資料に沿って説明。Tokyo Bulletin 発行状況、ホームページ更新状況、ニューズレター投稿等の状況について説明。2021 年の活動計画として、Tokyo Bulletin/メルマガ発行、ホームページ更新、R10 Newsletter 投稿について説明があっ

た。

LMAG Chair より、LMAG ニュースレター投稿について、3月1日付けにて本部のライフメンバーのニュースレターに掲載された。R10 では東京支部だけであり R10 Chair も喜んでいて、との紹介があった。

・ Student Activities Committee

(資料 7-6)

SAC Chair より、2021 年の活動計画について説明がなされた。今後の活動については各 SB より活動計画書を提出してもらおう予定だが、提出状況について、全 13 ブランチのうち 8 ブランチが未提出であり、カウンセラーの先生にも連絡を取り、まずは全 SB から計画書の提出をしてもらいたい。

Chair より、各 SB の取り纏めはカウンセラーが行っているのか質問があった。これに対し、各 SB は学生の Chair が主体として取り纏めを行っていること、それに伴い卒業後は引継ぎがうまくいっていない現状を打破すべく、SAC で定期的にミーティングを行いたいと SAC Chair より説明があった。

・ History Committee

(資料 7-7)

HC Chair より活動報告及び計画の説明があった。2020 年 12 月～2021 年 3 月まで、2 回のマイルストーン贈呈式を現地参加とオンライン参加を併設したハイブリッド形式で行った。現在も東京支部では 5 件ほどマイルストーンの申請を準備中であり、加えて他の地域の支部でも受けてもらおうとしている。現在、関西支部で 3 件、名古屋支部で 2 件（うち 1 件は 3 月 16 日に贈呈式開催）大阪と東京の共催で 1 件推薦を予定している。

次回の贈呈式は、申請がスムーズに進めば年内もしくは来年の前期には開催できる予定。

8. Affinity Group 活動報告

(資料 8)

・ Life Member Affinity Group

(資料 8-1)

LMAG Chair より、活動報告および計画の説明がなされた。2021 年 1 月 15 日付で、新 Life Member の昇格祝いメッセージを Chair と連名で発行。また、全国にある LMAG の繋がりを強固なものにするべく、JC 傘下の LMAG 合同委員会を開催した。

会員へのサービスとしては企業見学会や講演会、イブニングサロンの開催を検討している。（いずれも 2020 年はコロナウイルスの影響により延期とした。）

現在 LMAG ホームページが見辛い状況になっているため、2021 年の目標として特に英語のページについて Publications Committee と協力して LMAG のホームページを充実させ、表彰に繋げていきたい。

Past Secretary から、参考情報として、JC では YP、企業中堅メンバー、WIE など

の IEEE 活動や IEEE の活用法の対外アピールを強化するため、インタビュービデオ (IEEE.tv を活用) やパンフを日英両言語で制作し、JC のホームページで公開していることが、紹介された。

・ Young Professionals Affinity Group

(資料 8-2)

YP Chair より、活動報告および計画の説明がなされた。Japan Office を含めた 14 人でキックオフミーティングを開催した。新型コロナの影響でフィジカルなイベントが減っており、YP のコミュニティの存在価値についてもう一度考え直す必要がある。そこで、自己紹介を兼ねてメンバー同士がコミュニケーションを取れるような「YP ラジオ」を開催することを決定した。その他の今後の計画としては、サマースクールやウィンタースクールが挙げられるが、いずれもコロナウイルスの影響でオンライン開催となる可能性がある。

Chair より、どのように YP メンバーを集めたのかと質問があった。これに対し、YP の活動に興味を持ってもらうために、YP の価値や活動を通して得られるものを Japan Office のサポートを受けて学生にアピールしている。昨今の情勢の中、限られた機会では学生と接触ができないので、今後も積極的にアピールをし、関心を寄せてもらうようにしたいと YP Chair より説明があった。

・ Women in Engineering

(資料 8-3)

WIE Chair より、活動報告および計画の説明がなされた。12 月 27 日に第 1 回ミーティングを 19 名にて引継ぎもかねて開催、2 月 25 日に第 2 回を開催し活動計画の確認を行った。イベントとしては、3 月 8 日に国際女性デーを記念し Online Coffee Break を開催し 8 名が参加。今後の計画としては、3 か月に 1 回の頻度で役員会を開催し、秋にはシンポジウムを開催したい。また、WIE のホームページについて、日本語版は既に存在しているため今後は英語ページの充実を行っていく。

Past Treasurer より、JC WIE が主催していたものを東京支部が引き継ぐ形になっている件で、Japan 全体を対象にした活動に関わる予算については JC から出すように修正した方が良いとのコメントがあった。

9. その他

(資料 9)

・ R10 Meeting 参加報告

(資料 9-1)

Secretary より IEEE R10 Meeting の報告がなされ、R10 Membership Activities Committee の項にて各 Committee の今年の計画が報告されているので、各 Committee の Chair には見ておいて欲しいと要請があった。

・ [参考] グレード別会員数の推移

(資料 9-2-1)

・ [参考] Society 別会員数の推移

(資料 9-2-1)

以上